

平成 24 年 4 月 27 日  
東海旅客鉄道株式会社

平成 24 年 3 月期 決算説明会 主な Q & A

- Q. 今後 3 年程度における単体の人件費・修繕費の見通しは。
- A. 具体的な金額については各年度で精査していくこととなりますが、現時点において申し上げられる大きな方向という観点で見れば、人件費については、従業員数が若干増加する可能性はあるものの、退職により平均年齢が下がることによる単価減もあるため、ベースとなる部分は大きな増減なく推移する見通しです。修繕費については、超電導リニア技術のブラッシュアップ等にかかわる費用が計上される見込みですが、引き続き費用全般にわたり低コスト化に取り組み、抑制に努めてまいります。
- Q. 平成 24 年度の単体の設備投資は 3,240 億円を計画しているが、これは当面のピークと考えてよいか。
- A. 具体的な設備投資計画については、各年度において精査してまいります。山梨リニア実験線の延伸等の工事が今年度に最盛期を迎えるため、構成要素に変化はあるものの、来年度の設備投資額は減少する見込みです。
- Q. 平成 24 年度の配当予想を、1 株あたり 10,000 円とした理由は。
- A. 当社は、従前より一貫して、安定配当を継続するという考え方を基本に、各期の経営環境、業績を踏まえて、具体的な配当を決定してきております。平成 23 年度においては、東日本大震災の影響があったものの、第 2 四半期以降、輸送量が順調に回復したことなどを勘案し、平成 23 年度期末において 1 株あたり 500 円の増配を予定しており、平成 24 年度においても第 2 四半期末・期末ともに同水準の 1 株当たり 5,000 円（年度計 10,000 円）の配当を予定しています。
- (注：配当予想は、平成 24 年 10 月 1 日を効力発生日として予定している普通株式 1 株につき 100 株の割合での株式分割を考慮していない金額)

Q. 今後、いつ増配するつもりか。

A. 鉄道業においては、単年度において利益が多少変動したとしても、安全を確保するために必要な修繕や設備投資を長期的視点に立って計画的に進めていくことが不可欠であり、当社を支えていただく株主様に対する配当の考え方としても、従前より、安定配当の継続を基本とさせていただいております。今後の配当についても、長期にわたり安定した配当を実施していくことを基本に、各期の経営環境や業績等を踏まえながら、適切に決定していく考えです。

以上